

事務局(連絡先)
 NPO法人 Azuma-re
 〒987-2216
 栗原市築館伊豆二丁目6番1号
 市民活動支援センター貸事務室2
 ☎ 090-5597-2732
 Fax 0228-22-5579
 Email(代表) Kurihara.tn@gmail.com

Agri Café 第1回くりはらツーリズムネットワーク勉強会開催

先月8月24日(火)一迫の長屋門Café いわさき花門にて、くりはらツーリズムネットワーク主催 Agri Café を開催しました。

参加者は花山地区5名、栗駒地区2名、築館地区1名、くりはら研究所2名、事務局3名の計13名で行われました。

まずは、初対面の方もいらっしゃるの、お1人ずつ簡単な自己紹介から始まり、夕食を頂いた後、フリートーク(勉強会)を始めました。

フリートークでは、これからしたいこと!しなくてはならないこと!事務局・行政への役割など様々な意見が飛び交いました。

この様な、貴重な意見を参考に事務局として出来る限りの支援を行っていきたいと思います。

第1回にも関わらず多くの方々の御参加・御意見誠にありがとうございました。

これからも、第2回、第3回と Agri Café を開き、より一層くりはらツーリズムネットワークのパイプを太く長くしていきたいと思います。皆様方の御参加をお待ちしております。

第2回 Agri Café 開催予定中!



松倉さとやまがっこ 稲刈り体験・参加者募集!!

<松倉里山学校で春に植えた稲が実り今月25日に稲刈り体験を行います。>

日 付: 2010年9月25日(土) 午前10時集合(雨天決行)

開催場所: くりこま高原自然学校(松倉校)

対象者: 小学1年生~中学3年生 及びその保護者・一般(18歳以上)
 稲刈りと石窯料理(ピザ)作り

○定 員: 10組

○申し込み方法: 電話・メール・FAXにて受付をしています。

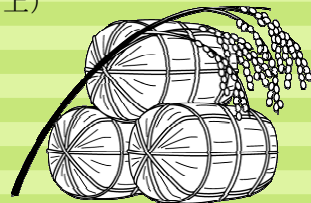
締め切り: 9月18日(土)

参加費: ¥3,500/1人(参加費には稲刈り代、昼食代込み)

※新米1kg差し上げます(10月半ば頃予定)

- ・基本的には玄米。場合により精米も可能(要相談)
- ・松倉校にて受け渡し。遠方の方には郵送可能です。

持ち物: 長靴、帽子、軍手、着替え(汚れても良い格好: 長袖、長ズボン)、タオル、カップ、水筒(ペットボトル可)



保険: 万が一の際は当団体の加入する野外活動保険が適用されます。松倉さとやまがっこの田んぼは、1反4畝の広さで無農薬・有機肥料の、自然栽培です。刈った稲は、栗原市内でも珍しい『ねじりほんによ』を作ります!!!

<お問い合わせ・お申し込み先>

くりこま高原自然学校(松倉校)

住所: 〒989-5372 栗原市栗駒松倉中山田16番地

電話: 0228-49-3155 (担当: 唐澤)

FAX: 0228-49-3166

メールアドレス: info@kurikomans.com

くりこま高原自然学校 H/P: <http://kurikomans.com>

栗原に韓国の子どもたちがやってきました!

2010年7月26日(木)から30日(金)の5日間、くりこま高原自然学校(代表:佐々木豊志)で『アジアの平和の音・日韓子ども交流キャンプ in くりこま』が行われました。

※くりはらツーリズムネットワーク事務局のNPO法人Azuma-re千葉も韓国語通訳として参加させて頂きました!!

参加者は県内の小・中学生10名と韓国から24名(小・中・高生:18名、大人:6名)

(韓国側、韓国歴史音楽研究所:朴龍鎮氏ら・こども風流道義大太鼓チーム)

今回の目的でもある『アジアの平和の音』音楽を使っでの交流。

(財)未来の東北博覧会記念国際交流基金 助成事業

第一回、日韓国際交流事業

「アジアの平和の音・日韓子ども交流キャンプ in くりこま」

主催:栗原市栗駒史談会・栗原市国際交流協会

NPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所

共催:韓国歴史音楽研究所

実施協力:くりこま高原自然学校・大林寺

後援:栗原市教育委員会・安重根義士慕会(韓国)



最初の2日間は花山少年自然の家に宿泊。沢遊びをしながら、水缶リンバ(※1)の水採取をし講師として、水や森と自然の大切さを訴える全員参加の音楽会を行いながら全国を旅している、水缶リンバの考案者で丸山祐一郎氏(旅の音楽家)を迎え、水缶リンバを作り、歌の練習、色々な楽器を交えながら交流をしました。



(※1) 水缶リンバジュースの空缶を4缶つなぎ合わせ、真ん中の2缶の間を水が移動両端の2缶に弾く仕組みを工夫した創作楽器作り方はホームページよりどうぞ!!

丸山祐一郎 <http://www.geocities.jp/mizukanrinbo>

①

4日目は夕方から「こども交流発表会兼さよならディナーパーティー」が行われるので、昼近くまで耕英校で、各自発表会の練習をし、昼食は多世代はうす・文字倶楽部に移動し、手作りの釜焼きピザとカレーを食べました。その後、夕方からの『こども交流発表会兼さよならディナーパーティー』の時間まで、栗駒の商店街に行きショッピングを楽しみました。



③

韓国の方々は、翌朝4時の出発ということもあり、寝ずに起きていた子どもたちが多く、空港に行く帰りのバスの中でゆっくり寝たことでしょう。航空券の手違いなどで、突然の予定変更もありましたが、スタッフの協力で最後まで無事終わらせることができました。



⑤

3日目は天平ロマン館(涌谷)、大林寺(若柳)の見学、青雲寺・千葉十七さんの生家(栗駒)に行き、今日からの宿泊先となる、くりこま高原自然学校へ移動。入浴はハイルザームへ行き、最終日に向けてキャンプ中の疲れを取りました。



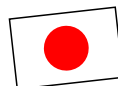
②

ベルディ栗駒にて「日韓平和の音こども交流発表会兼さよならディナーパーティー」が始まり、風流道(韓国の太鼓)・日本・韓国の子ども達の合唱・丸山祐一郎氏によるピリンバウ演奏・菅原敏允氏(史談会会長)のマジックショー・白鷺太鼓、等の発表会があり、大いに盛り上がりました。くりこま高原自然学校に戻り、キャンプ参加者への終了証授与式がありました。子供たちは一人一人笑顔で受け取っていました。その後、韓国の方々のミニ・パフォーマンス会があり、夜遅くまで盛り上がりました。



④

くりこま高原自然学校はこれからも、未来のために日韓交流を続けます。近いようで遠い国と言われている国、韓国。文化が違えば考え方も違います、理解し合うには互いに知り合うこと! 今も、過去の歴史的問題で騒がれニュースになる事も多いですが、歴史を消すことは出来ません。これから先、未来の子供たちの為にも、日韓交流(国際交流)を続けて欲しいと願います。



⑥